



Sustainable Sweden Association

2014年9月10日-18日

投票率80%超

スウェーデン総選挙体感 市民交流スタディツアー

このツアーは4年に1回行われる9月14日の総選挙に合わせています。国会、県議会、市議会、一部の住民投票が全部同じ日に実施されます。選挙に向けたキャンペーンのあり方、ディベート、教育、そしてメディアのあり方など、日本と比較しながら、市民の視点で見たり、話を聞いたりします。

5月はEU選挙もあり、各政党がいつもより早く選挙モードに入って要るので、選挙に向けて議論がすでにはじまっています。世論調査によると今回は政権交代の可能性もありそうです。雇用や社会保障のほかに、教育、エネルギー、温暖化、化学物質、移民、男女平等など、どんな議論になるのでしょうか。

スウェーデンの投票率が80%以上と高いのはなぜでしょう。その背景を探ります。選挙に向けて町の広場に「選挙小屋」が設置されます。市民は立ち寄って、政策のことを聞いたり、政治家と触れ合うことができます。各政党に青年部が古くからあり、参政権を得る18才の前からも入る若者がいます。政策議論に参加したり、政策づくりを学んだりして次世代の政治家が育ちます。現職の政治家のほぼ半分が女性です。

中高学校では「学校選挙」が開催されます。学校の任意の参加ですが、総選挙に近い日で総選挙と同じ政党と投票方式で若者が政治参加の仕組みを学び意識が高まります。結果は政策に影響しないが、若者の政治志向のトレンドを知ることができます。

このツアーは約20万人の自治体ウプサラ市に主に滞在します。スウェーデンの首都ストックホルムにも近いスウェーデン第4位の町です。ここは、大学町なので学生が多く、活気のある町である一方、自然にも近いです。再生可能エネルギーなど環境の取り組みに積極的な町でもあります。そして丁度この時期に大きな文化フェスティバルが開催されるので投票日の直前少し気分転換ができます。

4年に1回しかない、スウェーデンの民主主義を知るこの絶好の機会にスウェーデンに来てみませんか。現地での視察プログラムの全行程にガイド・通訳として同行します。スウェーデンへようこそ！

レーナ・リンダール (Lena Lindahl)
持続可能なスウェーデン協会理事・日本代表
合同会社 Connect Japan 代表

<企画主催>
持続可能なスウェーデン協会
合同会社 Connect Japan
NPO 法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパン
<旅行事務局>
有限会社リポーン <エコツーリズム・ネットワーク>

